

(1) 昭和62年7月10日



きくとして学校生活を送っています。その点で母校の近況を簡単に報告させていただき、從来にもまして一宮西高校へ

今年度を迎えて、今年も大過なく運営されており、先生も生徒諸君も、毎日生き生きとして学校生活を送っています。

◎複数受験でむづかしくなったにもかかわらず、予想以上に活躍した今年の卒業生。

今年度の大学入試は、国公立の大学を

校長 鶴田 功

すばらしかつた今年の卒業生 —名大合格七〇名—

同窓生の皆さま方に
はご健勝にて、それ
ぞの分野において責任
ある立場にてご活躍の
こととお慶び申し上げます。

わたくしは、本同窓会役員諸氏のご推
薦により、本同窓会副会長に再任されま
した。同窓生としての誇りと責務をもつ

て、役員諸氏と力を合わせ、会務の遂行
に邁進しますので同窓生諸賢のご指導と
ご支援をお願い申し上げます。

当西高も創立以来二十有余年の間に多
数の卒業生を送り出し、その同窓生の
社会における活躍は各界から高い評価を
得ており、このことは大いに誇れるもの
と確信しています。しかし技術革新等に
意義深いものがあると痛感いたしました。
本同窓会の将来さらに一層の飛躍に向け
て同窓生の皆さま方の多様なニーズや時
代の変化に対応した将来方向を見究め、
着実な活動を遂行するためには、同窓生
のタテとヨコの相互コミュニケーション

させた。にもかかわらず、本校の生徒た
ちは、昨年の名大合格者44名を大巾に上
廻る70名が合格するなど、予想以上の活
躍を果した。

これも、今年の卒業生たちが、毎日努
力した結果であるが、これを支えていた
だいたいご父兄、さらには永い間ご支援を
いたいたい同窓の皆様方のおかけである
と心から感謝する次第である。

時制は四年前から募集を停止しており、
今年の三月、最後の卒業生四〇名を送り
出し、幕を閉じました。昭和四〇年に併
設されてから二十二年、その間に千四百
十二名の卒業生を送り出し、この地域の
産業界のニーズに応えてきました。

三月一日、閉校を記念して同窓会を開催
いたしましたが、地元在住者だけでなく
遠くは九州から参加されるなど、盛大な
会となりました。なお、閉校にともない、
在職された先生方も、すべて、新しい職
場に移られましたが、成績証明書、卒業
証書などの学校事務は、一宮西高校の
事務室が従来通り担当いたしますのでご

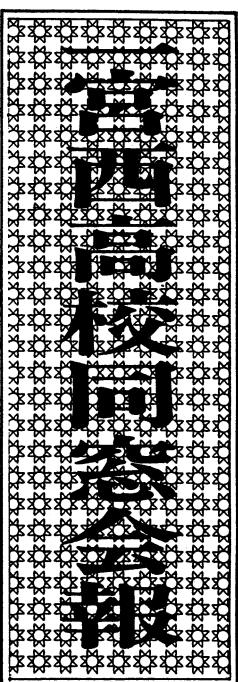
利用下さい。

◎今年と来年の二年計画で学校の建物が
整備されます。

定時制の施設が空いたことにともない、
本校の施設、設備を有効に利用するため、
二年計画をたてて、改修がなされる予定
である。図書室、多目的教室、会議室な
ど多くの新しいものができこの面でも他
校にひけを取らない学校になることを期
待しております。

将来への飛躍に向け同窓生の結集を

同窓会副会長 傍島 章介



= 愛知県立
一宮西窓会

より世界経済は変革の波に洗われ、その
中で特に我が国は重要な地位を占めると
共に、国際収支の不均衡の縮少、国際的
協調のための経済構造の調整等が急務と
されています。田高の影響等により鉱業、
製鉄業、造船業等は、合理化、閉山、設
備の統廃合あるいは生産規模の縮少等嚴
しい対応を迫られ、ハイテク化、情報化、
ソフト化が進展しています。このような
厳しい社会情勢の当今こそ、当西高の卒
業生の集まりである同窓会という組織を
通して友情を深め対応していくなければ
ならない時と思います。こうした意味で、
一年に一度の同窓会を通じお互いのコミ
ニケーションを計るということは大変
意義深いものがあると痛感いたしました。

本同窓会の将来さらに一層の飛躍に向け
て同窓生の皆さま方の多様なニーズや時
代の変化に対応した将来方向を見究め、
着実な活動を遂行するためには、同窓生
のタテとヨコの相互コミュニケーション

と連帯を深め、組織の強化をはかるこ
とを願います。

また来年度には二十五周年の同窓会員
名簿の発刊が予定されております。住所

場所 一宮スポーツ文化センター

備しております。

※ なお準備の都合上、出欠席の葉
書を七月末日迄にお出し下さるよ
うお願いします。

※ 昨年の総会の出席者の御名前を
三面に掲載させていただきました。
お誘い合せの上、気楽にお寄り下
さい。

※ 昨年の総会の出席者の御名前を
三面に掲載させていただきました。
お誘い合せの上、気楽にお寄り下
さい。

不明の方々が多数みえますので、その方
々の住所等ご存知の方は同窓会事務局ま
でご連絡いただきたくお願いいたします。

※ 昨年の総会の出席者の御名前を
三面に掲載させていただきました。
お誘い合せの上、気楽にお寄り下
さい。

総会のお知らせ





旧職員
鬼頭繁子

「多くを学んだ西高」

一宮西定時に最後の七年間をお世話になりました。その間、樋田先生、加藤先生、柘植先生、鶴田先生と四人の個性ある大校長先生に巡り会い、目のまわる教員生活を送り、大変勉強になりました。

九州の離島や東北の山村から十五の春に愛する父母や故郷と別れ、愛知の鐵維産業の保護・育成のため、朝五時の早番勤務と午後からの学校生活、午前の学校生活と午後一時半から夜十時までの遅番勤務との一週間交替の生活をする生徒達を前に、「大変だなあ」と同情の念をいたしました第一歩でした。ところが、日が経つにつれ「学校を卒業するまでは……」と労働と勉学、部活動、学校行事準備、そして帰寮しての食事、糸ばこりで汚れた作業着の洗濯と、遅くまで頑張る生徒達に私のできることは何だろうか……。

眠いのを起し勉強させ、より多くの教養を身につけ一人でも多く卒業させ、目標を達成させることではないで、共に学び、おこり、苦しんだ毎日でした。

四年生担任の時「先生だつたら私達の仕事して三日休み」と同じ労働者の生徒から言われたことが今も耳に残ります。

上司の目、職場の仲間に迷惑をかけまいと人一倍働いて病氣で退学した眞面目な生徒、一生懸命働いてやつと貯めた結婚預金を親の入院費にあてた生徒、弟や妹に自分もほしかった洋服を買ってやつた



送りしていたあのやさしい人間愛に満ち溢れた一人一人を忘ることはできません。本当に沢山のことを教えられ、私にとって貴重な人生の一頁となりました。

最後に、三月一日有志お別れ会に全国(九州・北海道)から出席して下さった卒業生、職員の方、本当に有難うございました。

り、全日制の高校へと入学金や学費を仕送りしていたあのやさしい人間愛に満ち溢れた一人一人を忘ることはできません。本当に沢山のことを教えられ、私にとって貴重な人生の一頁となりました。

最後に、三月一日有志お別れ会に全国(九州・北海道)から出席して下さった卒業生、職員の方、本当に有難うございました。

同窓生近況

一回生 浜屋(福元)久子

結婚して14年目、長男中学一年、長女小学四年、次男小学二年の三人の子供、主人と五人家族で毎日楽しく暮しています。四年間の定時制生活いつまでも良い思い出として残ると思います。皆さんも元気で下さい。

二回生 武田(藤原)洋子

農家の主婦として毎日、汗を流して頑張っている次第です。「とんぶり」は、我が北内町の特産品ですので、ぜひ食べて下さい。

三回生 荒木(春田)トモエ

卒業して十五年もたちました。早いものですね。定時制が廃止になると聞いて時代の流れを感じました。でも西校で学んだ四年間、苦しかったけど楽しい思い出です。

四回生 柴田(兼安)千香代

卒業して早15年目、今では2児の母となり、教育、いじめ問題と時代の流れに学生時代をなつかしみつつ、もう少し近くであれば(総会に)出席出来るのにと……。定時制も今年で終りと聞き、とても残念に思い、そしてこれでいいのかとも思ひながら、いつか会える日を。

七回生 西村照子

現在働きもののやまとで活躍しています。一宮名鉄百貨店三階・名古屋TB店、名古屋CP店と全国145店あります。そちらへ行く事もあるかもしれません。

※ 昨年度の総会、出欠の際のハガキの近況欄より掲載しました。

現在、萩の静かな町でくらしております。2児の母となり、卒業して10年以上の月日があつと言ふ間に過ぎてきました。思われます。今度は定時制が本年度でもうなくなってしまうと聞きすごく残念でなりません。いつまでもあり続けてほしいですが、時代の流れにはさからえませんね。でも私達はいつまでも母校のこと忘れません。

十回生 桜井貞子

今年で定時制が最後と聞いてとても淋しい気持がします。働きながら学ぶといふ事は本当に大変でした。でもあの苦しい四年間があつたからこそ、現在保母という職業につけたように思い、とても感謝しています。

十二回生 吉川(折戸)真弓

2児の母親になり育児を頑張っています。定時制が閉校になることは前から知っていましたが、とうとうやつて来たかとても残念に思っています。5月の連休に名古屋へ行つたのですが、母校までは行けませんでした。またの機会に!!

三回生 武田(松原)真理子

木曽川中学校の保健体育の教師をしております。教員14年目、木曽川では11年になります。木曽川中の教子が西高校へ進み、後輩教師となつて同じ職場で働いています。お目出とう御座ります。

三回生 山田憲男

昨年の七月から東京の会社ごと引越しました。恩師の南部先生が教頭になられています。お目出とう御座ります。

三回生 筒井恵二

愛知県心身障害者コロニーで指導員として、重度障害者の福祉のためがんばっております。卒業後16年たち、時のたつてまさに、いまさらながらおどろいております。

四回生 高間臣夫

卒業後15年たつた現在も高校時代の仲間と行き来し、続いています。最近おなかも出が氣になり出し、スイミングスクールに週一回通っています。(やる気はあるけど、体が……)

五回生 伴和宏

現在、三星毛糸㈱に勤務しております。公私ともに元気で忙しい毎日を送っています。

一回生 小西(近藤)恵美子

山内君が会長になられたんですね。南部先生のお元気なお顔を見してとてもうれしいです。今、中日ビルで英会話をなっています。(一週間に一回ですけれど)その先生、なんと私の10年以上はなれた西校卒業生だつたです。とてももうお元気でいらっしゃいます。いつもでも一宮西高校が私について回っています。ちなみに弟は2回生です。

二回生 山田憲男

昨年の七月から東京の会社ごと引越しました。恩師の南部先生が教頭になられています。お目出とう御座ります。

三回生 筒井恵二

愛知県心身障害者コロニーで指導員として、重度障害者の福祉のためがんばっております。卒業後16年たち、時のたつてまさに、いまさらながらおどろいております。

四回生 高間臣夫

卒業後15年たつた現在も高校時代の仲間と行き来し、続いています。最近おなかも出が氣になり出し、スイミングスクールに週一回通っています。(やる気はあるけど、体が……)

五回生 伴和宏

現在、三星毛糸㈱に勤務しております。

公私ともに元気で忙しい毎日を送っています。

一宮西高校同窓会

ります。

私も堺へ来て、早九年余りが過ぎました。大阪の生活にどっぷりとつかり、のんびりした毎日を送っています。けれども何年過ぎてもやつぱりふるさとはなつかしく感じられます。

八回生 櫛田弥生

長男が6才、長女が2才になり、長女が少し手がからなくなっていました。今、おむつを離す練習を毎日しています。長男の保育園の役員をしており、割と忙しく頑張っています。

十回生 木村桂三

● 今月になつてピアノを習い始めました。なかなか楽しいものです。

● 一宮(18年)→京都(6年)→足柄(4年)私もすっかり標準語になつてしましました。最近名古屋弁を聞くと赤面してしまいます。

十二回生 渡辺(櫛田)裕子

59年3月18日に大学のサークルの先輩と結婚し、埼玉にきました。61年1月21日に長男を出産し、現在は育児、家事、ラミングの仕事と忙しい毎日をすごします。

十三回生 本田(神田)保江

本年一月に長男が生まれ、とうとう母親になりました。県警に勤めていたので仕事をとるか、子供をとるか、悩んだ末赤ん坊の笑顔に負けて自分の夢を断念し、今は毎日子育てに一生懸命です。……女つてつらいワ……と痛感している今日このごろです。でも子育てに一段落がつたら、また何かで社会復帰をはかります。

十四回生 平田康典

60年4月から東京にて明治生命保険会社において勤務致しておりますが、何分に忙しい毎日です。

十五回生 栗林 弥

社会人二年生になりました。コンピュータの会社でCADシステムの開発に携っています。

十六回生 荒川高晴

四月に僕の下宿に西高の後輩が入居しましたので驚きましたが、西高出身者が身近にいることに心強さを感じます。又、二年以上、一人で暮らし大阪の街の波にもまれて人間的には少し成長したかな?と思います。

十七回生 長谷川玲子

現在は母校でもあります、岐阜女子短期大学食物栄養学科の調理研究室に助手として席をおいております。又、西高にも顔を出したいたと思っております。

十九回生 石堂千登勢

中村区役所に入りました。やっと仕事もできるようになり、毎日がんばつていいだいです。

二十回生 竹川香百合

大学生活は思つてたよりけつこうしんどいものです。まず通学が辛い。予習復習もある。といった具合です。でも夏休みは長いので良いです。

※ 昨年度の総会出席の際のハガキの近況欄より掲載しました。

昨年度総会

田幸雄、志村信男

◎全体制

〔一般会員〕

● 第一回生 石川裕、川合美登里、木村久美子、水野好子、小川礼子、林倫江、

● 第六回生 佐藤春雄、松岡徹好、鵜飼やすよう努めました。その甲斐あつてか、富美男、鵜飼勝子、栗田恵子、服田時世

● 第五回生 腹田守、寺沢正、酒井幹男、山下秀

● 第二回生 寺澤正、酒井幹男、山下秀

● 第三回生 傍島章介、小川健一

● 第八回生 丹羽健三、犬飼景子、福田祐子、服部真理子、川出孝行

● 第九回生 丹羽淳子、伊藤美恵子、玉田祐子、松平康彦

● 第十回生 安田公子、後藤愛子、祖父江幸子

● 第十一回生 加藤大介、鵜飼昌男、金子秀夫

● 第十四回生 池田幹男、楠田一千代、丹羽徹

● 第十五回生 三輪一吉、戸谷浩

● 第十六回生 野田千春、市原博司

● 第十七回生 八木温子

● 第十八回生 早坂俊広、道家利佳、塩沢和美、平松直美

● 第十九回生 腹田真清、小島徳代

● 第二十回生 松岡真宏、小島英一、森浩二、島津優美、菱川恭子、森洋子、西山美保、長塚香代、伊藤由香、野田治子、坂智美、坂井美由貴

● 第二十一回生 大野達郎、杉浦一守、大鹿高雄

● 第二十二回生 浅野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第二十三回生 大野弘、その他

● 第二十四回生 浅野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第二五回生 大野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第二十六回生 大野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第二十七回生 大野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第二十八回生 大野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第二十九回生 大野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第三十回生 大野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第三十一回生 大野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第三十二回生 大野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

● 第三十三回生 大野弘、塙本文雄、永田敏三、南部博、田中博、田村伸恵

今年度総会出席予定



〔旧職員〕

竹内信之、塙本文雄、永田敏三

南部博、田中博、田村伸恵

大野達郎、杉浦一守、大鹿高雄

大野弘、その他

浅野弘、塙本文雄、永田敏三

（敬称略 順不同）

※あらかじめ恩師の方々のご出席が少しでもわかつていればと考え、電話でお願いしました。

基準はありません。

昭和62年度、春の叙勲で浅野弘先生へ本校二代目校長が勲四等瑞宝章を受けられました。おめでとうございます。

卒業生の進路状況 (S62年度)

昨年度は名古屋大学に開校以来の合格者を出すことができました。本年度も微力ながら精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。

*大学の項の数字は合格者数()は浪人。

全 体

国 立 大 学	269 (65)
公 立 大 学	36 (6)
私 立 大 学	484 (146)
公 立 短 大	66 (2)
私 立 短 大	99
各 種 専 門 学 校	28

主な国立大学

北 海 道 大	5 (1)
東 北 大	5
筑 波 大	8
東 京 大	3 (1)
東 京 工 大	3 (2)
お 茶 の 水 女 大	2 (1)
一 橋 大	3 (2)
名 古 屋 大	70 (20)
京 都 大	11 (4)

主な私立大学

慶 応 大	16 (9)
早 稲 田 大	17 (13)
南 山 大	75 (9)
立 命 館 大	53 (20)

社会英語養護教頭家庭国語社会保健体育

職員の異動
(敬称略)

(定時制)
夫馬 信三(岩倉高校)
松川真砂代(小牧高校)
和田 伸子(岐阜中島小)
湯浅 博(五条高校)
理恵(西春高校)
鈴木 勝也(鳴海高校)
志村 信男(起工業高校)
鬼頭 繁子(祖父江高校)
遠山久美子(一宮西・全日制)
(事務)

主事	用務員	社会	主事
助 手	英 語	數 学	國 語
英 語	英 語	社會	國 語
主事	英 語	數 学	社會
内 田	英 語	英 語	國 語
(事務)	英 語	英 語	社會
鶴居	英 語	英 語	國 語
山 下	英 語	英 語	社會
笠 原	英 語	英 語	國 語
下 尾 明	英 語	英 語	社會
伊 藤 正 隆	英 語	英 語	國 語
坂 牧 ツ ル	英 語	英 語	社會
松 村 大 作	英 語	英 語	國 語
長 屋 ま ち こ	英 語	英 語	社會
小 松 一 枝	英 語	英 語	國 語
一 棒(瀬戸西高校)	英 語	英 語	社會

部活動大會成績

本年度の総体の結果及び合宿日程です。

昨年度の成績と遜色のない結果をおさめることができます。

始め、何卒御支援の程、お願い申し上

【尾張地区 高校総体結果】

弓道	男子
ハンド	ラグビー
ソフト	バスケット
ベス	バレーボー
ト8	野球
3位	3位
3位	2位
8	優勝
ベス	ト8
ト8	5位
3位	3位
3位	2位
8	優勝



同窓生5行通信の募集

現在、同窓生の皆さんのお近況を5行程度(約80字程度)で募集しております。字数も少ないので、気軽に投稿して下さい。
あて先 〒491-03
一宮市萩原町串作字河田1番地
一宮西高校 同窓会事務局

同窓会役員

役 職	卒業回	氏 名	住 所	電 話
会 長	1	山内 進	〒494 尾西市東五城字大平裏	
副会長	3	傍島 章介	〒491 一宮市栄	
	8	則竹 功雄	〒491-03 一宮市萩原町朝宮字中道	
会 計	3	小川 健一	〒491-01 一宮市浅井町大日比野	
	7	川出 孝行	〒491-03 一宮市萩原町串作大字東田面	

同窓生5行通信の募集を昨年始めました。私が、今一つ投稿がありませんでした。そこで、昨年、総会の出欠席を伝えていたが、出来る限り幅広くなるように取扱い、読んでいて楽しいものでした。私の同級生の身近な様子もわかつただきました。私は、今年の5行通信といふ形で募集しております。ふるつて連絡をお願いいたします。

同窓会事務局 TEL 68-1191

卒業回	氏 名	住 所	電 話
6	山内 清生	〒494 尾西市開明字北小惣	
8	光田 吉夫	〒495 中島郡祖父江町外平	
9	今枝 義光	〒492 稲沢市大塚町	
11	伊藤 克也	〒491 一宮市千秋町芝原字郷浦	
11	平松 雅夫	〒492 稲沢市稻沢町前田	
15	鶴居 朝	〒491 一宮市大和町苑安賀	

編集後記